

美しい 県土づくりNEWS



2015年
12月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第137号
平成27年12月28日発行
編集 県土整備企画室



目次

- 2 復興道路 東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守」遠野ICアクセス同時開通！
- 4 復興道路 三陸沿岸道路「吉浜道路」開通！
- 6 開運橋塗替工事の完成除幕式を開催しました！
- 7 災害公営住宅 みどり町 第Ⅰ期が大船渡市に完成！
- 8 「東日本大震災復興・復興工事合同安全衛生パトロール」を実施！
- 10 優良工事20件を表彰
- 12 第12回土木合同セミナーを開催しました！
- 13 「いわて建設業みらいフォーラム」を開催しました
- 14 いわて花巻空港名古屋線利用促進PRキャラバン
- 15 大船渡港の放置ロシア船を撤去しました
- 17 復興県土づくりシンポジウムの開催について

三陸復興

祝 復興道路 開通！

三陸沿岸道路

吉浜道路

東北横断自動車道釜石秋田線

遠野～宮守

国が復興のリーディングプロジェクトとして整備を進めている復興道路のうち、

- ・平成27年11月29日（日）に **三陸沿岸道路「吉浜道路」3.6 km**
- ・平成27年12月5日（土）に **東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守」9.0 km**
がそれぞれ開通しました。

また、「遠野～宮守」の開通に合わせ、**遠野インターチェンジへのアクセス道路として県が整備を進めてきた一般県道遠野住田線「新里工区」0.7 kmも同時開通**しました。

これらの開通により、物流の円滑化や観光振興、災害時の信頼性の向上など、様々なストック効果が見込まれ、本県の復興に大きく寄与することが期待されます。



【東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守間）開通式】

安倍内閣総理大臣、達増知事、本田遠野市長をはじめ、高木復興大臣、高木復興大臣政務官、江島国土交通大臣政務官、県選出国會議員、鱒沢小学校の生徒さんほか御来賓の皆様による「テープカット」と「くす玉開き」の様子

復興道路 東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守」 一般県道遠野住田線「新里工区」(遠野ICアクセス)同時開通!

～内陸部と遠野市街地が高速道路で結ばれ、更なる交流・連携が促進～

道路建設課

平成 27 年 12 月 5 日(土)、遠野市宮守町の宮守インターチェンジ付近本線上にて、東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守」間の開通式を国、県、遠野市の共催で開催しました。

現地の特設テント内の会場式典には、江島国土交通大臣政務官、知事、遠野市長をはじめ、国会議員、県議会議員、市議会議員、沿線市町村長、地域住民の方々など多数の関係者が出席しました。

地元園児による開会宣言に続き、知事等による挨拶、国会議員の方々から祝辞、地元企業の代表者から開通に期待する地域の声の発表が行われました。



鱒沢保育所幼稚園の園児の皆さんによる開会宣言



達増知事 挨拶



地域の声 大野ゴム工業株式会社大野代表取締役

その後、開通アーチ前に移動したところで安倍内閣総理大臣が到着し、祝辞を述べられ、テープカットとくす玉開き、開通パレードが行われました。

会場では、パネル展示のほか、遠野市立遠野西中学校吹奏楽部による演奏や、鱒沢婦人会による“ひつまみ”の振舞いが行われたほか、マラソン&ウォーキング大会が同時開催されました。



安倍内閣総理大臣 祝辞



開通パレード



開通式に駆けつけてくださった地域住民の方々



遠野市立遠野西中学校吹奏楽部の方々
わんこきょうだい「そぼっ・うにっ」



マラソン&ウォーキング大会

県では、遠野インターチェンジへの円滑なアクセス等を目的に、**一般県道遠野住田線「新里（につさと）工区」**の整備を進め、遠野～宮守間と**同時開通**させました。

これらの開通により、花巻市と遠野市街地が高速道路で結ばれ、災害時の信頼性の向上、物流の円滑化・効率化、観光振興等が図られるほか、全国モデルに選定された「道の駅 遠野風の丘」の拠点性の向上など、**様々なストック効果が期待**されます。また、平成 28 年の「希望郷いわて国体・いわて大会」や、平成 31 年の「ラグビーワールドカップ釜石開催」においても、**円滑なアクセスに大きく寄与することが期待**されます。



新里工区（上空から）



宮守 IC（開通後）



遠野～宮守本線（開通後）



新里工区（開通後）

【位置図】

▼全国モデル「道の駅」※ 『遠野風の丘』

【広域防災拠点として高度な防災機能を分担】

○防災の拠点

東日本大震災では、復旧、救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの方々の後方支援拠点として機能

○産業振興の拠点

沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設し、被災地の復興を支援

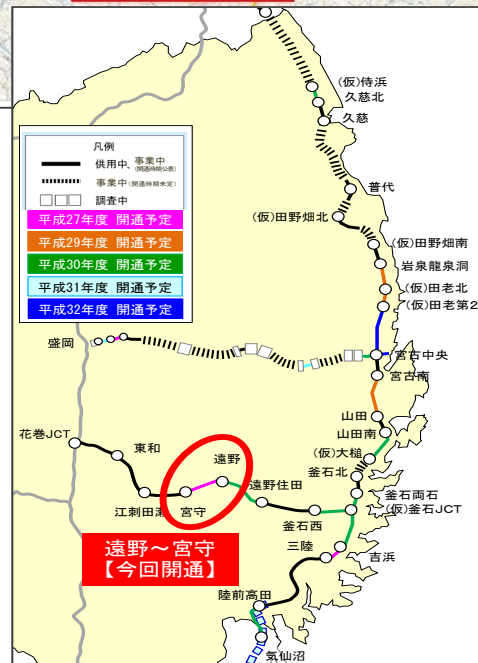
○観光や地方移住等 総合案内拠点

沿岸地域の復興に向け観光情報を発信
ふるさと納税制度の紹介、納税者には、「道の駅」の特産品を提供



※ 全国モデル「道の駅」（全国 6 箇所）

- 地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮していると認められるもの
- 既存の「道の駅」を対象に、国土交通大臣が選定
- 観光、産業、福祉、防災等、地域資源の活用や地域の課題解決を図るための地域のゲートウェイや地域センターとして機能
- 設置から一定年数（10年以上）、継続的に地域に貢献



【事業概要】

路線	東北横断自動車道 釜石秋田線	一般県道遠野住田線 (遠野ICアクセス)
区分	遠野～宮守	新里工区
区間	遠野～宮守	新里工区
延長	9.0km	0.7km
車線	2車線 (自動車専用道路)	2車線 (一般道)
幅員	7.0(13.5)m	6.5(12.0)m
設計速度	80km/h	60km/h
事業期間	H15～H27	H21～H27
事業費	約237億円	約24億円
事業者	国土交通省	岩手県

復興道路 三陸沿岸道路「吉浜道路」開通！

～橋梁とトンネルで交通の難所を解消、地域の活性化に寄与～

道路建設課

平成 27 年 11 月 29 日（日）、大船渡市三陸町の吉浜インターチェンジの会場にて、三陸沿岸道路「吉浜道路」の開通式を国、県、大船渡市の共催で開催しました。

式典前には、県立大船渡高校吹奏楽部の皆さんによる演奏や、地元の郷土芸能を代表して、浦浜泊地区の権現舞、吉浜千歳地区の明神太鼓が披露され、会場の雰囲気盛り上げていただきました。

式典では、国土交通大臣、知事、大船渡市長による挨拶、黄川田衆議院議員から祝辞、県立大船渡病院院長から喜びの声の発表、南三陸国道事務所長より事業経過報告が行われました。

その後、開通アーチ前にて、テープカットとくす玉開き、親子三代渡り初め、開通パレードが行われました。



県立大船渡高校吹奏楽部 演奏



浦浜泊地区 権現舞



吉浜千歳地区 明神太鼓



石井国土交通大臣 挨拶



黄川田衆議院議員 挨拶



佐藤南三陸国道事務所長 事業経過報告



石井国土交通大臣、達増知事、戸田大船渡市長をはじめ、伊藤大船渡病院院長、徳山国土交通事務次官、黄川田衆議院議員、地元小学校の生徒さんほか御来賓の皆様による「テープカット」と「くす玉開き」の様子



人力車による親子三代渡り初め



開通パレード



会場の様子

吉浜道路は、国道 45 号の交通の難所である羅生（らせい）峠の急カーブ・急勾配の解消等を目的に、平成 19 年度に国土交通省により事業化され、震災後は復興道路に位置付けられた三陸沿岸道路の区間として鋭意整備が進められ、今回、開通となりました。

今回の開通により、峠越えの事故多発区間が回避され、安全な交通が確保されるほか、大船渡三陸道路や高田道路と一体の路線として機能し、県立大船渡病院へのアクセスの向上、輸送時間短縮による海産物の鮮度保持・品質向上、観光振興、災害に強い道路の確保など様々なストック効果が期待されます。

また、平成 28 年の「希望郷いわて国体・いわて大会」や、平成 31 年の「ラグビーワールドカップ釜石開催」においても、円滑なアクセスに大きく寄与することが期待されます。



吉浜道路（開通後）



吉浜トンネル



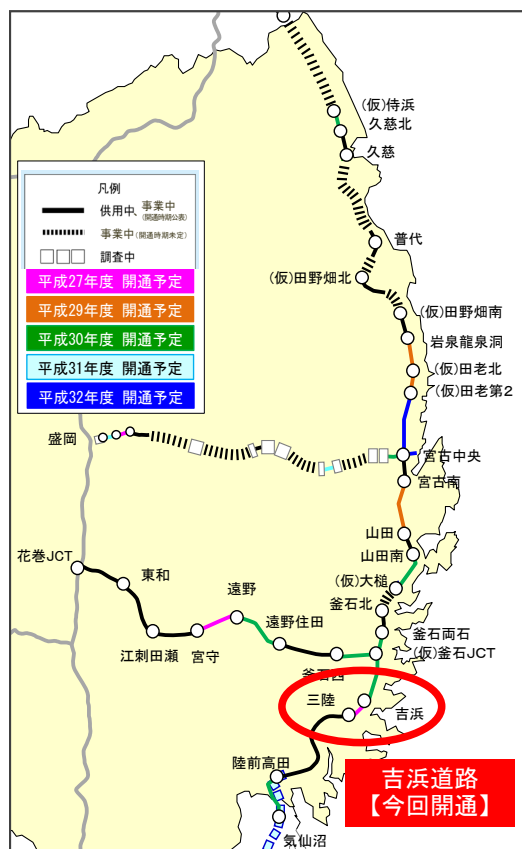
吉浜高架橋

【位置図】



【事業概要】

路線	三陸沿岸道路
区分	吉浜道路
区 間	吉浜道路
延 長	3.6km
車 線	2車線（自動車専用道路）
幅 員	7.0（12.0）m
設計速度	80km/h
事業期間	H19～H27
事業費	約140億円
事業者	国土交通省



開運橋塗替工事の完成除幕式を開催しました！ 現場ニュース

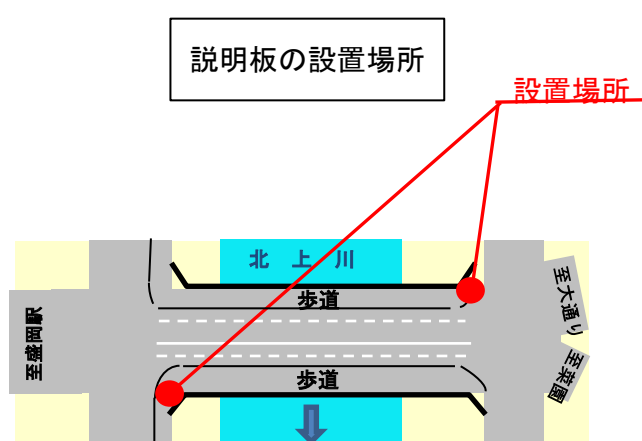
盛岡広域振興局土木部

橋梁の長寿命化と景観向上を目的とした開運橋の塗替え工事がこのほど完成し、12月22日に「完成除幕式」と盛岡市主催の「開運橋ライトアップ点灯式」を併せて開催しました。

除幕式では、主催者を代表して浅沼盛岡広域振興局長の挨拶、石田盛岡駅前地区商店街連合会長より祝辞をいただき、その後受注者の株式会社渡辺塗装工業の渡辺代表取締役の合図で、開運橋を覆っていた幕が下ろされました。

塗装色は塗替前と同じ白色ですが、僅かに黄みと赤みを加えた白色「ムーンホワイ特」に塗替え、平成28年1月に開催される「希望郷いわて国体冬季大会」では、全国から来県される選手・役員や観光客を綺麗な橋でお迎えします。

また、工事完成を記念して、橋の東西袂には開運橋の歴史を紹介する説明板を設置しています。



災害公営住宅「県営みどり町アパート」第Ⅰ期 が大船渡市に完成！

～ 災害公営住宅（大船渡市みどり町地区）新築工事 ～

- 沿岸広域振興局土木部
- 建築住宅課

県が大船渡市みどり町地区に整備を進めてきた災害公営住宅「県営みどり町アパート」の1号棟と2号棟（第Ⅰ期）が、平成27年11月に完成しました。駅や市内の中心部に程近い利便性の高い立地であり、3号棟（第Ⅱ期）が完成（H28.3 予定）した後は、大船渡市内で最大となる計147戸の団地となります。

◆12月13日内覧会開催

入居の開始を前に、入居を予定される方々を対象とした内覧会を開催しました。当日は、大勢の見学者（約300人）が訪れ、新しい生活に期待を膨らませている様子でした。



完成外観（手前が1号棟、奥が2号棟）



団地配置図



12/13 内覧会の様子



同左



同左

◆12月22日入居開始

県から入居者への鍵の引渡しが行われ、年末を前に入居が開始となりました。ここに安心・快適な暮らしが叶うことを願っています。



12/22 集会所での鍵渡しの様子

【団地概要】

- 1 敷地位置 大船渡市盛町字みどり町地内
- 2 敷地面積 12,000.00 m²
- 3 施設概要
 - 1号棟（47戸）：RC造6階建 3,800.96 m²（集会所含）
 - 2号棟（50戸）：RC造6階建 3,800.08 m²（ペット可）
 - 3号棟（50戸）：RC造6階建 3,547.86 m²
 - その他附帯施設：物置、自転車置場、ごみ置場 他

「東日本大震災復旧・復興工事 合同安全衛生パトロール」を実施！

建設技術振興課

東日本大震災津波からの復旧・復興工事が本格化する中、工事現場における労働災害が増加していることを受け、岩手県県土整備部では 12 月を「事故防止強化月間」と位置付け、事故防止に重点的に取り組みました。

取組のひとつとして、12 月 21 日（月）に岩手労働局長・建設労働災害防止協会岩手県支部長と県土整備部長が合同で、陸前高田市内の災害公営住宅建築工事と大船渡市内の港湾海岸災害復旧工事の安全衛生パトロールを実施しました。



死亡労働災害は墜落転落によるケースが上位を占めることや「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱」が 5 月 20 日に改正されたことを受け、今回のパトロールでは、床材と建地との間隔が 12 cm 以下となっているか、足場の周囲に転落防止ネットが張られているか、安全ベルトを固定するロープが設置されているか、などの点を重点的に確認しました。

【平成 26 年 死亡労働災害発生状況（岩手労働局管内）】

業種別	建設業 10 人 運輸業 4 人 商業 4 人 製造業 2 人 鉱業 1 人 左記以外 5 人	合計 26 人
監督署 管内別	盛岡 8 人 宮古 6 人 花巻 5 人 釜石 3 人 大船渡 3 人 一関 1 人 二戸 0 人	
事故の 原因別	墜落転落 8 人 交通事故 5 人 激突され 3 人 はさまれ巻き込まれ 3 人 崩壊倒壊 2 人 飛来落下 1 人 激突 1 人 感電 1 人 転倒 0 人 切れこすれ 0 人 おぼれ 0 人 破裂 0 人 高温の物との接触 0 人 その他 2 人	

両現場とも、細かい点にまで配慮し事故防止に取り組んでおり、墜落転落防止の措置が取られていました。パトロール実施後、三者から講評が行われ、蓮見県土整備部長からは「現場は安全対策が取られていた。当部発注の工事の事故発生件数が例年より多く推移している。一日も早い復興を目指していただいているところであるが、工期と同様に安全も重要であるとの認識を持ち、一般交通や他工事にも配慮して現場を進めていただきたい」との話がありました。

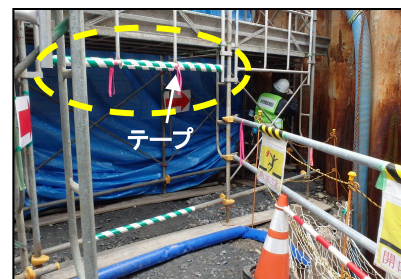
☆「見える化」の取組が進んでいます! ☆

【見える化とは?】人間が視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚の5感から得る外部情報の8割が視覚によるものと言われています。労働災害の防止には、危険・有害な状態の認識や予測が必要不可欠ですが、これには一定の経験が必要です。経験年数にかかわらず、働いているすべての人に危険性を伝えるための取組が「見える化」です。



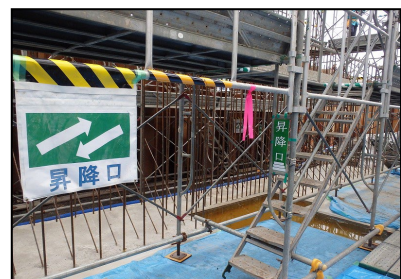
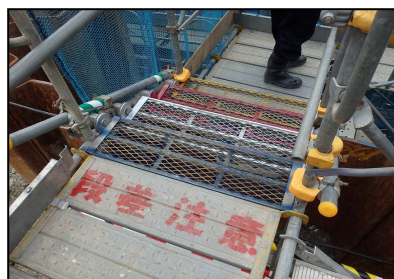
(左) メッシュシートで覆われ外部足場の昇降階段位置が分からないので、シートの色を変えています。

(中・右) 転落防止のため、注意書きを明示して開口部の養生をしています。



(左・中) 可動式の注意看板を設置し、関係者以外の立入禁止と立入者への注意喚起を同時に行っています。

(右) 頭上危険箇所の保護をするとともに、注意喚起のためにテープを下げています。

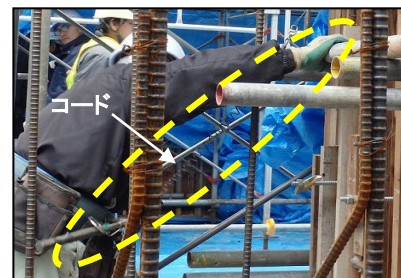
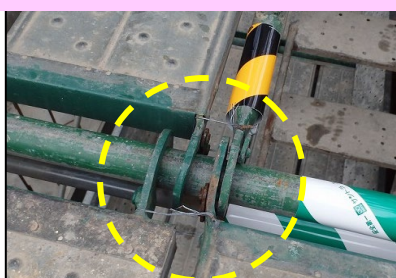


(左) 作業場所に玉掛け作業に関する標識を設置し、注意喚起しています。足場端部にも幅木が設置されています。

(中) 段差注意の明示をするとともに、階段部では階段を色分けして着色し、さらに注意喚起しています。

(右) 昇降口が分かりやすいよう、明示しています。

《ちょっとひと工夫!》ちょっとした配慮が安全につながります



(左) 足場板は、すれやすく、隙間ができると墜落の恐れがあるので、鉄線で連結しています。

(中) 激突防止のため、コーナー部の手すり突起部にキャップをしています。

(右) 型枠脱型用の金物器具にコードを取り付け、腰に連結しています。セパレーターから不意にはずれても落下しないようにしています。

優良工事 20 件を表彰

～ 優良県営建設工事表彰 ・ 優良下請負企業表彰 ～

建設技術振興課

平成 27 年 12 月 18 日（金）、岩手県水産会館で平成 27 年度「優良県営建設工事表彰」と「優良下請負企業表彰」を行い、千葉茂樹副知事から表彰状と記念品の伝達を行いました。

「優良県営建設工事表彰」は、建設業の健全な発展とその施工技術の向上に資することを目的として、昭和 57 年度から実施しているもので、今回で 34 回目となります。

今回は、平成 26 年度に完成した、請負額 1,000 万円以上で、かつ工事成績評点 85 点以上の県営建設工事を審査対象とし、各工事発注公所等からの推薦を受けて、優良県営建設工事表彰審査会（庁内委員と外部有識者で構成）において審査され、「総合的に工事成績が良好で他の模範となる県営建設工事」と認められた 20 工事 20 者が受賞企業として選定されました。

「優良下請負企業表彰」は、県内建設業者の施工技術の向上による公共工事の品質確保及び健全な元請下請関係の構築を目的として、平成 21 年度から実施しているもので、今回で 7 回目となります。

審査対象は、「優良県営建設工事表彰」の対象工事を実施し、今年度の受賞企業として内定した元請負企業から推薦のあった下請負企業です。庁内審査及び優良県営建設工事表彰審査会における審査を経て、7 工事 7 者が受賞企業として選定されました。

表彰式には、受賞企業の代表者のほか、工事発注公所等の担当者も多数出席し、受賞企業の優れた業績をたたえました。

表彰状授与（優良県営建設工事表彰・優良下請負企業表彰）



【受賞企業・工事一覧】

部門	優良県営建設工事 表彰企業	優良下請負企業	表彰工事名
土木	EC 南部コーポレーション (株)	—	一般国道 397 号分限城地区道路改良 (その 3) 工事
土木	(株) 遠忠	(有) 基建設	一級河川松川筋大岩地区ほか 河川災害復旧 (25 災 361・362・363 号) 工事
土木	(株) 大久保建設	—	一般国道 106 号夏屋 1 号橋ほか橋梁補修工事
土木	(株) 栄組	—	一般国道 283 号青笹地区道路改築工事
土木	(株) 佐藤建設	新工住建 (株)	都市計画街路犬袋新町線柳橋地区道路改良舗装工事
土木	昭栄建設 (株)	—	集落基盤整備事業 (地域用水型) 太田堰地区第 2 号工事
土木	鈴木工材 (株)	—	山目町地区予防治山工事
土木	成和建設 (株)	—	経営体育成基盤整備事業小瀬川地区第 2 号工事
土木	千田工業 (株)	松井建設 (株)	経営体育成基盤整備事業 和賀中部第四地区第 13 号工事
土木	(株) 中村建設	—	集落基盤整備事業 (地域用水型) 太田堰地区第 3 号工事
土木	南建設 (株)	(株) ミナミ	主要地方道二戸五日市線浄法寺地区 道路改築 (その 3) 工事
土木	三好建設 (株)	—	宮古港出崎地区臨港道路 災害復旧 (23 災 72 号) 工事
土木	菱和建設 (株)	—	復興基盤総合整備事業小友地区第 3 号工事
舗装	AC サカモト (株)	—	都市計画道路向中野安倍館線 仙北一丁目地区街路改良舗装工事
舗装	(株) たかしん興業	ロードワークス (株)	森林管理道雪沢・松の倉沢線 (第 2 工区) 舗装工事
鋼橋上部	(株) 中央コーポレーション	—	一般国道 106 号宮古西道路 (仮称) 長沢川橋上部工製作架設工事
建築	(株) 平野組・ (株) 長谷川建設 特定共同企業体	(株) 大田中塗装店	岩手県立高田高等学校校舎等新築 (建築) 工事
管設備	(株) セントラル設備機器・ 県南設備工業 (株) 特定共同企業体	—	岩手県立高田高等学校校舎等新築 (機械設備) 工事
電気設備	(株) 興和電設	—	岩手県立高田高等学校校舎等新築 (電気設備) 工事
防水	(株) 佐々木組	(株) エイワ	岩手県立宮古病院屋上防水改修工事

第 12 回土木合同セミナーを開催しました！ テーマ「すすむ復興まちづくり～地方創生への取組～」

土木合同セミナー実行委員会事務局
盛岡広域振興局土木部

平成 27 年 12 月 10 日（木）「エスポワールいわて」において、第 12 回土木合同セミナーを開催し、214 名の御参加をいただきました。（主催は盛岡広域振興局土木部等 6 団体による実行委員会）

東日本大震災津波から 5 年目を迎え、集中復興期間の最終年であります。いまだ復興途上にあり、一方で地方創生など新たなまちづくりへの取組も求められています。今回は、「復興と地方創生」に焦点を当て、改めて被災地の現状と課題を理解するとともに、業界の枠を超えてまち・ひと・しごと創りに取り組んでいくこと等を目的として、以下のお二人から御講演をいただきました。



講演 ① 「復興と地方創生 ～フラッグシップとしての釜援隊とオープンシティ戦略～」

釜石市総合政策課まち・ひと・しごと創生室長 石井 重成 氏

石井氏は震災をきっかけに 1 ターンし、釜石市職員になられた方であり、現在創生室長。復興まちづくりの調整役として立ち上げた釜援隊※プロジェクトの特徴や活動事例などを紹介いただきました。釜援隊は、個々人がフリーランスという働き方で、業務のうち 20% は自ら釜石の復興に資することを考えて行う 80% ルールを採用しており、20% の余白がさまざまな人間関係構築や新事業開発の種になると特徴を説明されました。多くの住民が地域の課題や可能性を自分事として捉えることが必要で、新しい事業や市民活動が生まれてくると、釜石の良さを自分の言葉で話す人が増え、結果的に人を呼び込むことにつながる、と述べられました。

※釜援隊： 半官半民の地域の調整役として、市内 NPO やまちづくりの議論を行う団体をサポート。
かまえんたい
目指すは復興支援員・地域おこし協力隊業界の“トップブランド”をつくること。



石井 重成 氏

講演 ② 「公共事業を巡る最近の話題」 前国土交通省東北地方整備局副局長 渥美 雅裕 氏

渥美氏は、今年の 10 月に国土交通省を退任されたばかりであり、今年 9 月の東北豪雨による鳴瀬川、渋井川の当時の災害対応状況などについて臨場感のあるお話をいただきました。また、構造物の能力を超える災害が発生することはありませんが、100% を超える災害が発生し構造物が壊れる場合、同じ構造物でも、最後まで一定の効果を発揮しながら壊れる構造物の方がよいとし、構造物の臨界点を超えた後、どのように壊れていくかを考えていくことも重要であると述べられました。

さらに、管内で計画されている道路事業に触れながら、縦軸だけでなく横軸の整備も重要だと指摘されました。東北に人を呼び込むような策を打ち出さなければならず、そのためには、1 県ごとではなく、東北全体をパッケージにしたようなものが必要で、東北 6 県の団結が大切だ、と述べられました。



渥美 雅裕 氏

「いわて建設業みらいフォーラム」を開催しました

建設技術振興課

平成27年12月15日(火)、地域振興で建設業が果たす役割や、そこで働く魅力について、県民、特に学生や生徒など、若者に対して発信し、建設業を取り巻く課題について議論することを目的に「いわて建設業みらいフォーラム」を盛岡市の岩手県民会館中ホールで開催しました。

当日は400名を超える方々の参加のもと、学生、生徒の取組事例発表や建設技術者を交えたパネルディスカッションなどが行われました。

フォーラムの後半は、県内出身の歌手ユニット「アンダーパス」のミニコンサートで盛り上がりました。

いわて建設業みらいフォーラムの内容

①建設に関する取組事例発表

岩手県立産業技術短期大学校建築科、岩手県立種市高校海洋開発科の学生、生徒のみなさん

建設関係の技術者 宮城建設株式会社 小笠原千尋さん

建設機械関係者 キャタピラー・ジャパン株式会社 石津由貴さん

②パネルディスカッション「私にとっての建設業」

コーディネーター 岩手大学工学部 出戸秀明教授

パネラー 学生(産業技術短期大学校、種市高校)

建設技術者(小笠原さん、石津さん)

岩手県県土整備部長

③地域とともに歩む建設業の紹介

遠野かっぱ工事隊(岩手県建設業協会青年部遠野連絡協議会)

④ミニコンサート

アンダーパス(北上市、大槌町出身歌手)

(司会) IBC 岩手放送アナウンサー 松原友希さん



いわて IWATE
future of the construction

建設業みらいフォーラム

2015. **12.15** 火 13:30 ~ 16:00 2015
参加無料

岩手県民会館 中ホール
岩手県盛岡市内丸13番1号

主催 ▶ 岩手県／一社団法人岩手県建設業協会
後援 ▶ 国土交通省東北地方整備局／岩手県教育委員会／盛岡市教育委員会／(一社)建設業振興基金
(公財)いわて産業振興センター／(公財)岩手県土木建築振興協会／(一社)岩手県立建設衛生事業協会
岩手県建設工業設計協会／(一社)日本建設工業会岩手県支部／(一社)岩手県測量設計協会
(一社)岩手県建設士事務所協会／岩手県コンクリート協会／(一社)盛岡市工業会
岩手県アスファルト会村協会／岩手県道路工事業協会／(一社)岩手県建築業協会
岩手県建設材料協会／(一社)岩手県コンクリート製品協会／(一社)日本建設業協会岩手県支部 小笠原さん
(一社)岩手県建設業協会／(一社)日本建設業協会 (株)岩手県

建設に係る取組発表

- ・宮城建設株式会社 小笠原千尋さん
- ・キャタピラー・ジャパン株式会社 石津由貴さん
- ・岩手県立種市高等学校 海洋開発科
- ・岩手県立産業技術短期大学校 建築科

パネルディスカッション

コーディネーター
岩手大学工学部 出戸秀明教授

「私にとっての建設業」

地域とともに歩む建設業

- ・遠野かっぱ工事隊
(岩手県建設業協会遠野支部)

ミニコンサート

アンダーパス

＜総合司会＞
松原友希アナウンサー
(IBC 岩手放送)

MATSUBARA YUKI

お問い合わせ：岩手県建設業協会 ☎ 019-653-6111

いわて花巻空港 名古屋線利用促進PRキャラバン

～名古屋線 4 周年を迎え、更なる利用促進をPR～

空港課

平成 27 年 12 月 18 日（金）、谷村邦久岩手県空港利用促進協議会会長を団長とする名古屋線PRキャラバン隊が、愛知県内の自治体や経済団体を訪問し、岩手県内の観光情報や路線の利便性のPRを行いました。

名古屋線は株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）が東日本大震災津波により甚大な被害を受けた東北地方の復興支援の一環として、平成 23 年 5 月 21 日に運航を開始し、平成 27 年 8 月 1 日に運航 4 周年を迎えました。

県では、今後も路線の定着と更なる利用促進に向けて取り組んでいきます。

【名古屋線利用促進PRキャラバンの概要】

月 日：平成 27 年 12 月 18 日（金）

主 催：岩手県空港利用促進協議会

団 長：谷村邦久（岩手県空港利用促進協議会会長）

構成団体：岩手県、花巻市、盛岡商工会議所、花巻商工会議所、㈱フジドリームエアラインズ、岩手まるごとおもてなし隊、岩手県空港利用促進協議会事務局（岩手県県土整備部空港課）

訪 問 先：愛知県庁、名古屋市役所、春日井市役所、名古屋商工会議所、春日井商工会議所、マスコミ各社



大村秀章愛知県知事との記念撮影の様子



河村たかし名古屋市長との記念撮影の様子



平成 27 年度下期ダイヤ（H27. 10. 25～H28. 3. 26）の
名古屋線の運航時間は、

花巻→名古屋

名古屋→花巻

9：15→10：40

7：35→8：45

16：25→17：50

14：45→15：55

18：50→20：15

17：10→18：20

となっています。

旅行、出張の際はぜひご利用ください！

大船渡港の放置ロシア船を撤去しました

(港湾課・大船渡土木センター)

東日本大震災津波により被災し大船渡港に放置されていたロシア船籍貨物船「フリゾリトヴィ (KHRIZOLITOVYY)」号について、12月8日(火)に撤去を実施しました。

同日午後1時50分、これまで係留されていた野々田地区の岸壁にて、大船渡土木センター職員と報道関係者が見守る中、フリゾリトヴィ号は第20北日本丸により曳航(えいこう)され、静かに離岸。約30分をかけて大船渡港外へと進んでいきました。

翌9日の午前7時30分には解体場所となる八戸港に到着。この後、年明けに解体作業が行われ、県有財産としての処分手続きを経て撤去解体の完了となります。

震災以降、4年9か月もの長期にわたる放置に終止符を打ち、大船渡市の復興を一步前進させることができました。



●経緯●

- 1 平成23年3月11日、東日本大震災津波によりロシア船籍貨物船「フリゾリトヴィ」号(683トン)が岩手県大船渡港内の浅瀬に一旦座礁した後、大潮により自然に再浮上。すでに乗員は避難帰国しており、放置状態が開始しました。
- 2 本船による環境汚染や転覆等の危険性のため地元からは早期撤去の強い要望が寄せられるなか、港湾管理者(岩手県)は、所有者による自発的な撤去に向け、国と連携しながら、船会社やロシア政府への働きかけを行いました。船会社の所在が不明となり所有者による自主撤去が期待できず、さらにロシア政府による所有者への積極的な指導等も困難な状況となりました。
- 3 そのような中、一刻も早い事態の解決のために、ロシア政府の理解を得た上で、港湾管理者(岩手県)が撤去を行うこととし、海事関係を専門とする弁護士に依頼し、県が撤去するために必要な法的手続き(競売手続きによる県への所有権移転)を行い、今回の撤去に臨んだものです。
- 4 なお、手法の検討、弁護士の紹介、ロシア政府との対応及び曳航手続きへの配慮等、国土交通省(特に海事局)には多大な協力をいただきました。

●曳航作業の様子●



係留の様子（船首側）



係留の様子（側面）



傷みの目立つ船体



曳航準備



いよいよ離岸



曳航開始



港内を静かに進み・・・



湾口防波堤を通過し港外へ

復興県土づくりシンポジウムの開催について

県土整備企画室
建設技術振興課

平成 28 年 1 月 21 日（木）～22 日（金）の 2 日間、東日本大震災津波からの復旧・復興現場における取組事例の発表等を通じて、現状や課題を共有するとともに、広く県内外に復興にかかる情報発信を行うこと等を目的として、標記シンポジウムを開催します。

22 日（金）には、これまで復旧・復興に御尽力いただいた元応援職員の皆様に出演いただき、復興に携わった経験等を語る「元応援職員によるトークセッション」を行います。あわせて、女性技術者等の皆様に出演いただき、女性ならではの視点から土木分野の仕事を語る「けんせつ小町によるトークセッション」も行います。

トークセッションの司会進行には IBC の富田アナウンサーが務めることとなっており、より一層の盛り上がりが期待されます。

復旧・復興に向けた取組事例の発表等を通じて、技術職員の技術力の研鑽と向上の場としても期待される当シンポジウムへの御参加をお待ちしております。

■ シンポジウムの概要

- (1) 日時 1 日目：平成 28 年 1 月 21 日（木）13 時 30 分～17 時 20 分
2 日目：平成 28 年 1 月 22 日（金） 9 時 30 分～16 時 30 分
- (2) 場所 プラザおでって（盛岡市中ノ橋通 1-1-10）
- (3) 内容 ①シンポジウム（3 階おでってホール）
講演、取組発表、応援職員によるトークセッションを実施します。
②パネル展（3 階おでってホール前）
公益財団法人岩手県土木技術振興協会及び岩手県建設技術協会によるパネル展を開催します。
- (4) 定員 200 名
- (5) 主催：岩手県、共催：公益財団法人岩手県土木技術振興協会、岩手県建設技術協会
- (6) 本シンポジウムは、1 月 22 日（金）及び 23 日（土）に開催する「いわて三陸復興フォーラム」の併催行事（第 1 報告会に位置付け）として開催するものです。
「いわて三陸復興フォーラム」の内容については、県のホームページを参照願います。

<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/event/041249.html>



■ 問合せ先

岩手県 県土整備部 県土整備企画室 企画担当 葛巻 TEL 019-629-5846
岩手県 県土整備部 建設技術振興課 技術企画指導担当 土佐 TEL 019-629-5851

■ プログラム

月 日	時間	発表論題等	発表者		
			所属	氏名	備考
1 月 2 1 日 (木)	12:00～13:00	会場準備			
	13:00～13:30	受付			
	13:30～13:40	開会あいさつ	県土整備部長	蓮見 有敏	
	13:40～13:45	事務連絡（ステージ準備）			
	13:45～14:10	開運橋塗装工事に關する一考察について	盛岡広域振興局土木部	主任 斎藤 久	
	14:10～14:35	北上浄化センター消化ガス発電事業について	北上川上流流域下水道事務所	主任主査 松川 武彦 主査 遠藤 城幸	
	14:35～15:00	主要地方道二戸五日市線「浄法寺バイパス」・二戸市道役場線「浄法寺大橋」全線開通	県北広域振興局土木部 二戸土木センター	主任 橋本 泰紘 技師 佐竹 明日香	
	15:00～15:25	岩泉町大川七滝吊橋設計の住民説明に活用したUAV（ドローン）による3次元設計	岩泉町 地域整備課	主任 吉田 純也	
	15:25～15:35	休憩			
	15:35～16:00	柵の瀬橋下部工工事について	県南広域振興局土木部 一関土木センター	主査 田頭 征剛	
	16:00～16:25	主要地方道北上東和線「平成大橋」について	県南広域振興局土木部 花巻土木センター	主任 河野 誠	
	16:25～16:50	宮古港海岸線ヶ崎地区の防潮堤整備状況について	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	主任 佐々木 大峰	
	16:50～17:15	開伊川水門の技術的課題と対応について（報告）	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	主査 鈴木 英彰	
	17:15～17:20	事務連絡（交流会、明日の日程等）			
月 日	時間	発表論題等	発表者		
			所属	氏名	備考
1 月 2 2 日 (金)	9:00～9:30	受付（2日目のみ参加の方）			
	9:30～9:55	【復興道路】宮古盛岡横断道路（一般国道106号）宮古西道路における事業監理等（CM）の取組について	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	主任 熊谷 利明	
	9:55～10:20	【復興道路】宮古盛岡横断道路（一般国道106号）の工事規制における国と連携した取組について（道路利用者の負担軽減に向けて）	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	主任 成田 朗	
	10:20～10:45	大船渡駅周辺の復興まちづくりの整備状況について	沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター 大船渡市 市街地整備課	主任 清水 雅弘 技師 亀田 則男	大阪府
	10:45～10:55	休憩			
	10:55～11:20	近接施工を考慮した橋梁の施工方法変更について～二級河川盛川筋川口橋架替工事における事例～	沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター	主任 清水 雅弘	大阪府
	11:20～11:45	「橋野鉄鉱山」世界遺産登録に関する取組について	沿岸広域振興局土木部	技師 山崎 諒多	
	11:45～12:10	災害公営住宅の整備について	沿岸広域振興局土木部	主任 日原 昭二	
	12:10～12:25	講評	建設技術振興課	技術企画指導課長 幸野 聖一	
	12:25～13:30	昼休み			
	13:30～14:00	被災地における家屋評価事務について	沿岸広域振興局県税室	森本 徹	静岡市
	14:00～14:30	復興調査が結ぶかけはー大槌町、赤浜Ⅱ、Ⅲ遺跡の発掘調査からー	生涯学習文化課	具志堅 清大	沖縄県
	14:30～14:45	休憩			
	14:45～15:30	◆「元応援職員」によるトークセッション◆ 【司 会】富田 奈央子（IBC岩手放送） 【コーディネータ】県土整備部長 蓮見 有敏 【出演者】 ・東京都建設局道路建設部建設課 課長代理 寺島 聖二（H26沿岸広域振興局土木部） ・長野県長野建設事務所整備課 主査 林 臣志（H25～H26沿岸広域振興局土木部宮古土木センター） ・静岡県交通基盤部土木防災課 主査 八木 宏晃（H25沿岸広域振興局土木部） ・愛知県建設部公園緑地課全国都市緑化フェア推進室 主任主査 栗田 雅貴（H25県土整備部都市計画課） ・大阪府国土事務所 副主査 横田 裕輝（H23沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター） ・鹿児島県土木部港湾空港課 技術主査 後藤 隆志（H24沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター）			
	15:30～15:35	休憩（配置換え）			
	15:35～16:20	◆「げんせつ小町」によるトークセッション◆ 【司 会】富田 奈央子（IBC岩手放送） 【コーディネータ】県土整備企画室 企画課長 小原 由香 【出演者】 岩手県職員 ・県南広域振興局土木部北上土木センター 主任主査 田家 清子 ・沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 技師 菊池 直美 ・県北広域振興局土木部 技師 八木沢 真紀 他県職員（現応援職員、元応援職員） ・沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 主査 上成 純 ・沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 主事 富田 ちほ ・最根県土木部道路維持課 主任 今川 文			
	16:20～16:30	開会			